

ウズベキスタン

(藤原勝 渉外部会長記)

今回の参加国のうち、中央アジアのウズベキスタン共和国が一番知られていないでしょう。この国の方々も海外に行っても「どこから来た？」と聞かれて説明しても「パキスタン？アフガニスタン？」と間違われるそうです。ちなみに「～スタン」とは、「～の国」というペルシア語で、ウズベク人の国と言う意味です。

カスピ海の東、アフガニスタンの北に位置します。広さ44万 km²(日本の1.2倍)、二つ国を越さないと海に出ない内陸国で、気候は夏は40℃以上、冬は-20℃以上の大陸性気候。人口3千万人、平均年齢20歳台の若い国です。産業は綿花、天然ガス、石炭、金、ウランです。宗教はイスラムですが、ゆるやかでお酒も飲むし、断食も全員がしません。女性も髪を布で隠す方は少数です。サッカーも強い国ですね。



シルクロードで有名なサマルカンド（世界遺産）

22年前までは旧ソビエト連邦領でしたが、ソ連崩壊に伴って独立しました。経済援助が必要な国なので日本はODA（途上国への開発援助）をしています。その一環でウズベキスタン日本センターが設立され日本語や日本文化（折り紙、生け花、お茶など）を現地の方が学んでいます。その一角にビジネススクールが設けられ、藤原が6年前から人財マネジメントの講師として年2回、JICA（ODAの実施機関）から派遣されております。

ビジネススクールの通訳(ロシア語)が合気道をやっていたので、剣道を見せて欲しいという要請があり、5年前に50人ほどの合気道愛好家の前で剣道を披露しました。JICAの駐在員がかつて剣道を教えたことがあるそうで剣道具を持っている人が3人おり、その人たちに面小手柄をつけさせて基本技・地稽古も見せました。

その時に私を知ったシュクラットさんが3年前に私の宿泊するホテルに訪ねてきて、剣道指導の要請がありました。シュクラットさんは今回来日されますが、現役の警察官で「青少年の健全育成に剣道を活用したい。数年前にロシア人に基本を習ったが今は指導者がいない」との事でした。

快諾し早速、体育館に行ってみると青少年 10 数人。驚いたのは素振りが天井を打つような形、竹刀がなくビニールの物干し竿みたいな棒を使っている、防具が数組しかなく稽古途中に汗のついた面小手などを使いまわしていると言った状況でした。

ただ剣道に対しての情熱は真摯で教えたことを素直に繰り返し、日に日に癖は直って行きました。今も週 4～5 回稽古をしています。

翌年から思斉館滝澤道場や愛川の方々をお願いして、不要な剣道具・剣道着・袴・竹刀など寄贈してもらいました。それを 3 回に分けて、段ボールで計 30 数箱持参し、今では 40 人近くいる子供も含めた剣士が剣道具をつけて稽古をできるようになりました。また首都以外の地方でも指導できるよう



剣道具を悦ぶ剣士たち

滝澤光三先生の赤胴もいただきましたが、「この方は日本では神様のようなお方だ」と紹介したら、今は稽古の前後の礼の時に赤胴を正面に置いて神棚の替りにされています。

ちなみにこの国の方々は大変な親日です。実際の日本人は 500 人程度しか住んでいませんが、尊敬と憧れの気持ちを日本に持っています。自分たちに姿が似ている、アジアで文明開化し、日露戦争で勝った、敗戦後焼け跡から立ち直り経済成長したなどがありますが、大きいのは強制収容所の存在です。

第 2 次大戦後、ソ連軍は中国東北地区にいた日本兵をソ連領に労働力として連れて行きました。ウズベキスタンには約 2500 人いたと言います。その日本人が良く働いたそうです。ウズベキスタンの首都タシケントは 50 年前に大地震があり 3 分の 2 の建物は倒壊しましたが、日本人が造った劇場や橋は壊れなかったそうです。



M8.0 の地震でも崩れなかったナヴォイ劇場

70 歳代のある方は語ります「小さい時、お前も日本人みたいになれと親から言われた。鉄条網越しに収容所を見ていると日本人は点呼を取ってミーティングをして隊列を組んで出ていく。そしてまた整列して帰ってくる。工期が遅れると残業までしていた。

ある時、食料がなくつらいだろうと思い果物を収容所の境界に置いたら、3 日後に模型の

木製の飛行機が置いてあった。日本人って律義でえらいと思った。」

強制収容された方々の3分の1の876人は冷たい雪の下で故郷を思いつつ亡くなられました。冷戦時代は日本は敵国だったので正面切って弔いはできませんでしたが、地元の方々が小さいお墓を作ってくれたそうです。(この辺りはTVで何回か紹介されていますし、中山恭子さん著の「ウズベキスタンの桜」を参照ください)

今回、ウズベキスタンからは3名の剣士が来日します。

「道場に行きたい」「世界の剣士と会いたい」「8段の先生を一目見たい」「お寺で参禅したい」「富士山をバックに写真を撮りたい」など夢を膨らませて来られます。良い体験が出来る事を祈っております。